

医療情報学部 医療情報学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、幅広い教養、専門性の高い医学・診療情報、高度医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理に関する知識および技術を修得し、国際社会においても活躍できる人材を育成します。学生が身につけるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報技術、食と健康と情報、生命維持管理を学び社会に還元できる人材。

②IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・専門的医学知識や医療情報システムを基盤として情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報管理・運営ができる人材。
- ・食と健康に関する専門的知識、健康情報を管理・分析ができヘルスリテラシー向上を推進できる人材。
- ・専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使できる人材。

③国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材。
- ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材。

④コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材。
- ・円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材。

⑤自ら問題を見つけること、その解決のために情報技術を活用し、自分で工夫できる問題発見・解決能力

- ・幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材。

⑥知識のみではなく生きるための知恵

- ・医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材。
- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材。
- ・医療情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（医療情報学）」を授与します。